

事業番号	11 03 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	安全・安心な道路環境対策事業	部局	建設部	課・室	道路管理課		
		実施期間	S30 ~	E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造					
	3-7 先端技術の積極的な活用・導入	4-4 生命・生活リスクの軽減					

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○道路施設の状況を把握し、計画的かつ効率的に補修を行うことにより、既存施設を有効に活用し快適な道路環境の確保を図る。 ○長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネル等道路施設の修繕を行い適切な維持管理を図る。 ○適正な除雪体制により、効率的な除融雪を行うとともに、防雪・消雪対策により、冬期間の安全・円滑な道路交通の確保を図る。 ○緊急輸送道路や、景観を重視する観光地等において障害となる電柱をなくすため、範囲を決め計画的に無電柱化を推進する。 ○落石等災害の危険性が高い箇所について、落石防護柵などの防災対策施設を整備し、道路災害の発生を未然に防止する。 ○通学中の児童等の交通事故をなくし、安全に暮らせるための交通環境の実現を目指す。 【これまでの取組】 ○舗装修繕、橋梁修繕、交通安全対策、標識整備、除雪、スノーシェッド整備、電線類地中化、落石対策などを実施。				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>✓ 道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加</td> <td>定期的に道路施設の点検を実施し、長寿命化修繕計画に基づく適切な修繕を行うことにより維持管理費用の縮減を図る。</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	✓ 道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加
課 題	今後の方向性				
✓ 道路施設の老朽化に伴う維持管理費用の増加	定期的に道路施設の点検を実施し、長寿命化修繕計画に基づく適切な修繕を行うことにより維持管理費用の縮減を図る。				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	<p>○防災上重要な路線及び観光地への主要なアクセス路線における老朽化対策及び災害に備えた交通機能確保のため、道路の舗装補修を行う。</p> <p>○老朽化により損傷の恐れがある橋梁の安全な交通を確保するため、橋梁の補修を行う。</p> <p>○震災時等に電柱が倒壊するなどの被害を防ぐとともに、良好な景観、安全で快適な道路空間を確保するため、電線共同溝の整備を行う。</p> <p>○土砂災害等の危険性が高い道路の災害を回避するため、道路の法面・路肩等の改修、防災バイパスの整備を行う。</p> <p>○豪雪等により、大規模な車両滞留が発生する危険性がある箇所の円滑な交通を確保するため、待避場所の設置等を行う。</p>
--------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末	R3年度目標値	事業コスト	区分(単位:千円)			
			R1年度	R2年度末	R3年度目標値								前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	早期に対応が必要な橋梁の修繕実施箇所数	202/264 (76.5%)	222/264 (84.1%)	↑	237/264 (89.8%)	↑	223/987 (22.6%)						前年度繰越	15,630,025	15,631,045	21,010,784
2	通学路緊急合同点検の要対策箇所の完了数	478/546 (87.5%)	485/546 (88.8%)	↑	496/546 (90.8%)	↑	516/546 (94.5%)						当初予算	24,844,800	29,772,685	21,734,857
3													補正予算	6,830,580	12,388,768	8,550,748
4													合計(A)	47,305,405	57,792,498	51,296,389
5													うち一般財源	11,056,800	11,309,778	9,808,467
													決算額(B)	31,658,258	36,698,009	
													職員数(人)	206.3	206.3	206.3
	成果指標設定理由	<p>①安全・安心な交通を確保するため、橋梁長寿命化修繕計画(R2見直し)に基づき、「ランクⅢ、Ⅳ橋梁」の進捗率を22.6%まで向上させる。(223橋/987橋)</p> <p>②通学中の児童等の事故をなくすため、平成24年度に実施した緊急合同点検結果に基づく要対策箇所の完了数を成果指標に設定。</p>														

事業名	安全・安心な道路環境対策事業	部局	建設部	課・室	道路管理課
-----	----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 最終予算		R 2 年度 最終予算		R 3 年度 予 算	
		1	舗装補修費、橋梁補修費、除雪費、交通安全施設費、道路橋梁維持修繕費、県単道路防災費他	計	31,675,380	計	42,161,453
			千円		千円	補正予算	8,550,748
						計	30,285,605
							千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容（予定）
1	舗装補修事業	直接	大規模な劣化箇所への補修工事を実施する。 1月補正における実施箇所 39箇所
2	橋梁補修事業	直接	橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、緊急性の高い橋梁等について、補修設計、修繕及び架替工事を行う。 維持管理に関する省令及び告示の規定に基づく定期点検を行う。 1月補正における実施箇所 270箇所
3	災害防除道路事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行う。 道路構造物の法定点検を行う。 1月補正における実施箇所 85箇所
4	雪寒対策道路事業	直接	スノーシェッド・堆雪帯等の設置を行う。 1月補正における実施箇所 3箇所
5	除雪事業	直接	除雪計画書に基づく除融雪の実施。
6	交通安全施設事業	直接	歩道の整備、交差点改良、道路情報板の設置を行う。 道の駅の駐車場整備、トイレの改修を実施。 1月補正における実施箇所 35箇所
7	電線共同溝整備事業	直接	電線共同溝の設置を行う。 1月補正における実施箇所 6箇所
8	雪寒地域建設機械整備事業	直接	雪寒地域内の除融雪機械の購入の実施。
9	道路橋梁維持修繕事業	直接	橋梁の比較的小規模な工事や、緊急の修繕工事を行う。 県管理道路の舗装を計画的に補修し、道路利用者の安全かつ快適な利用を確保する。 除雪計画書に基づく除融雪の実施。
10	県単道路舗装事業	直接	凍結深さに対応していない旧舗装構造の箇所を、凍結に対応した舗装構造へと改築する。 電線共同溝の設置に伴う設計や付帯工事の実施。
11	県単交通安全対策事業	直接	歩道の整備、防護柵の設置、標識の設置を行う。
12	県単道路防災事業	直接	落石等危険箇所の落石防護柵等防災施設の設置を行う。